



まいど！ざいむ局です！

# 関西元気企業

～女性ドライバーによる固定概念の払拭と  
きめ細かなサービスの追及～

今回ご紹介する企業は、男性社会のイメージが強いタクシー業界において、「ドライバーは女性だけ」という新しいタクシーサービスを始めた、平成25年7月設立の“みとちゃんタクシー株式会社”です。

現在、少子高齢化の進展と人口減少社会の到来に伴う労働力人口の減少の中で、潜在的な能力を有する人々の労働市場への参加の促進が求められています。

同社は、勤務形態等を工夫することで、女性にとって働きやすい職場の実現に向けた取組みを進めています。そうした取組みについて、杉崎則夫社長からお話を伺いました。

## 企業情報

名称 みとちゃんタクシー株式会社  
所在地 京都府京都市山科区西野離宮町36番地の4  
設立 2013年  
代表者 杉崎 則夫  
従業員 15名 資本金 50万円  
H P <http://www.rakuto-taxi.co.jp/mitochan/>

## ●ドライバーを女性だけとしたのは。

タクシー業界には「男性ばかりで高齢化も進んでいる」、「人材確保が容易にできない」、「深夜のタクシーは荒くて怖い」などのイメージがあります。このような固定概念を払拭して、タクシーに対する先入観を変えたいと思っていました。

また、女性は、結婚を機に一度退職してしまうと、再び正社員として社会に復帰することが難しく、また復帰したとしても、40、50歳代になると会社に居づらくなって辞めてしまうことも多いと言われています。そのため、今の日本では女性の正社員の数がまだまだ少ないのが現状です。そんな中で、タクシー業界は、退職した方が中途採用されて、正社員として働いているケースが多く、一度退職した女性でも65歳まで正社員として働くことが可能です。また、勤務体系の工夫次第で、ライフスタイル、ライフプランに合わせて比較的自由に働くことができるため、女性にタクシードライバーは合っていると思っていました。

深夜帰りの多い女性のお客さまからも「女性ドライバーを増やしてほしい」といった要望も多く、当社の赤い象のマークをみて、女性ドライバーだと認知していただけるように、新会社を設立したのです。



みとちゃんタクシー株式会社 杉崎社長

### ●女性ドライバーのために工夫したことは。

車内カメラ・タクシー防護板の設置、GPSの搭載などドライバーの安全を守り、安心して運転していただくための取組みや、休憩室はもちろん、専用ロッカールーム、ウォシュレットを完備するなど、休憩時間や仕事の後は十分に疲れを癒せる空間作りに会社を挙げて取り組んでいます。また、勤務形態も、タクシー業界に多い隔日勤務で



はなく、自由に選べるフレックス制を採用しています。子供の送り迎えの間に働いたり、午前中だけ働いたりとライフスタイルに合わせた勤務が可能となっており、家事や育児をしながらでも安心して働くことができます。給与に関しても、タクシー業界で一般的な歩合制ではなく時給制なので、安定した給与を得ることができます。

### ●ところで、みとちゃんタクシーの由来は。

当社は、ぞうさんマークの洛東グループの一社です。洛東グループは、創業50年余り、象の大きな広い背中に乗るような安心感をお客さまに提供させていただきたいとの思いから、どんな世代からも愛される象を、設立時のシンボルとして選びました。

「みとちゃん」の名前の由来は、京都市動物園のぞうさん、「美都(みと)ちゃん」からきています。京都市民から愛され、動物園の人気者である「美都ちゃん」のように、皆さまから愛されるタクシーになりたい。そんな思いを込めて、この名前になりました。



京都市動物園の美都ちゃん

### ●女性ドライバーに求められるものは。

女性からドライバーの求人に対する問合せが多く寄せられています。従来、女性ドライバーには、男性社会の中で「男勝りの女性」や「男性社会に馴染める力」が求められていましたが、当社では、高齢者や女性に気軽に利用していただき、そして喜ばれるような「女性らしい」ドライバーを求めています。また、気軽に稼げ、片手間



の仕事と考える女性ではなく、人の命の重要性を認識して、意欲をもって働いてくれる、そんな女性を求めています。

### ●みとちゃんタクシーに対するニーズは。

お客さまからの「みとちゃんタクシーに乗りたい」という声は多くあります。妊婦さんの通院や高齢者の買い物などで、予約はグループ他社よりも多く入っており、ニーズは高いと思っています。

今はどのタクシー会社もドライバーが確保できず、経営は厳しい状況にあります。当社も利益を上げることを目指していますが、安易にドライバーを増やせば、サービスの質が低下し、却ってお客さまから敬遠されることにつながると思っています。今はどういう経営方針で臨むかを試行錯誤している段階にあります。

### ●社長の経営理念、将来の夢は。

当社は、「女性がお届けできる、家族のような安らぎで、皆様の生活をお手伝い」を理念として日々運営をしています。

「タクシーなんて、どの会社でも一緒では？」と言われることがあります。これは、タクシーがあまり期待されていない表れかもしれません。“みとちゃんタクシー”が、電車、バスよりも高い料金をいただく公共交通機関のひとつとして、タクシーの本来あるべき姿勢をお客さまにお示しできれば、きっとタクシーがもっとお客さまにとって便利で安心な乗り物になるはずだと思います。

また、タクシードライバーという仕事が、女性の働きやすさ一番の仕事として認められ、女性ドライバーが増え、お客さまからも、タクシーが「もっと身近でやさしい乗り物」として支持されるような好循環を、“京都のみとちゃん”から全国へ発信していきたいというのが夢です。

#### 〈取材後記〉

杉崎社長からは、タクシー業界の弱点の克服・サービス向上に向けた真摯な姿勢と意思を感じることができました。そしてその解決に向けて、これまでタクシー業界には縁遠いと思われた女性だけをドライバーにするという前例に捉われない発想に感心するとともに、「女性の活躍」が注目を浴びる中で、これから経営者に求められる方向性を見た気がします。

取材の後、京都の街を歩き交うタクシーを見るたびに思わず行灯やドライバーさんを確認してしましますが、女性ドライバーを見かけることは未だにありません。同社の取組みが契機となり、女性の職場として定着することを期待するとともに、いつか女性ドライバーが運転するタクシーに、“おもてなし”を感じながら、気持ち良く乗ってみたいと思います。

(京都財務事務所財務課 I . H)

掲載している情報は、平成26年12月時点のものです。

掲載している写真は、同社よりご提供いただいた写真又は同社了解のうえ同社ホームページ内の写真を掲載しております。